

胃の調子が悪い人のチェックポイント

私達町医者が日常診療を行っておりますと、もちろん高血圧などの慢性疾患の患者様は多いのですが、胃腸の不調を訴えていらっしゃる患者様もかなり多いと実感します。

原因として一般的に多いのは、一時的な感染によるウイルス性胃腸炎や細菌性胃腸炎ですが、その他に①ヘリコバクターピロリ感染胃炎や②機能性ディスペプシアと言った病気が原因の事が多いのも実情です。

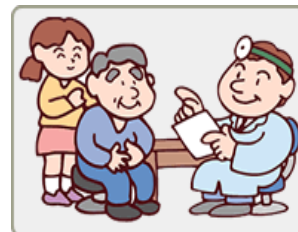
① ヘリコバクターピロリ感染胃炎は、最近マスコミ等で取り上げられることも多いので、ご存知の方も多いと思われませんが、ヘリコバクターピロリ菌という細菌が幼少期に感染し、慢性的に胃の粘膜を破壊することにより、胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍等が発症しやすい状態になり、最終的には胃がんや胃 MALT リンパ腫等の発がんリスクも上げるというやっかいな病気です。感染者の多くは、『若いころから胃が弱かった』という方が多いのですが、時折まったく胃腸の不調を自覚されずにいて、胃内視鏡検査で初めて分かったという方もいらっしゃり、また日本人では 60 歳以上では 8 割以上の方が感染しているなど、決して珍しい病気ではないため、是非一度チェックされることをお勧めします。(感染が判明した際は、胃内視鏡による胃の状態の確認が必要ですが、平成 25 年 2 月 22 日よりヘリコバクターピロリ感染胃炎に対しても健康保険での除菌療法が認可されました。)

② このほか食後膨満感や胃痛・吐き気等様々な症状が出現し、胃薬を飲んでも治らず、胃内視鏡検査等精密検査を行っても悪い所見が見つからないといったケースでは②機能性ディスペプシアと言う病気の可能性が考えられます。少しややこしい名前ですが、わかりやすく言えば心理的ストレス・社会的ストレス・過労などによる胃腸の機能障害です。

本来胃には(1)食事を貯める(2)食事を消化する(3)消化した食事を十二指腸に送り出すといった3つの機能がありますが、これらの機能が様々なストレスによってうまく働かなくなり、食後膨満感や胃痛・吐き気といった症状を出すのが病態です。

ただ①ヘリコバクターピロリ感染胃炎や②機能性ディスペプシアはその他の疾患も含め、それぞれ病態が重なっていることもあり、独断での判断は危険です。

胃の不調を自覚されている方は、まずはお近くのかかりつけ医にご相談されることを、お勧めいたします。



多摩東部地域産業保健センター 1-0014東京都三鷹市野崎1-7-2

電話番号:0422-47-2155

FAX 番号:0422-48-0982

電子メール: <http://www.mitaka.tokyo.med.or.jp/sanpo/index.html>